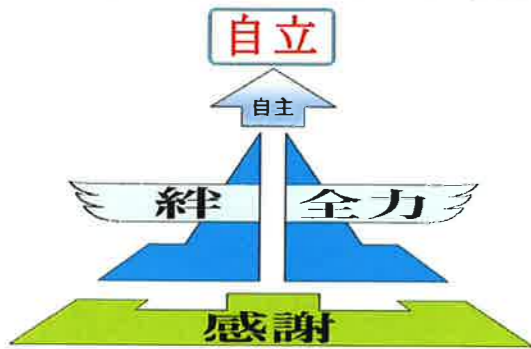


教育目標

平成30年度 佐賀市立小中一貫校北山校 学校教育目標

かんしゃ 感謝
きざな 絆
ぜんりょく 全力

～小中一貫教育と各種交流活動によって自主・自立に向かう児童生徒の育成～



めざす児童生徒像

- ・自分と他者の命を大切に、感謝の心を言葉に表すことができる子ども
- ・人との絆を大切に、互いに高め合い、助け合い、喜び合う子ども
- ・常に自ら全力を尽くそうとする心を持ち、主体的に学習に取り組む子ども

重点目標

<キーワード>

- 1 豊かな心 自他の生命尊重 他人を思いやる心
- 2 絆づくり 人間関係力の向上 ふるさとへの愛、誇り
- 3 学力向上 基礎・基本(学習・生活習慣)定着 思考力・判断力・表現力向上 体力向上

平成30年度教育目標を達成するための基本方針

「自立(家族・社会《日本・ふるさと》を支えていく人になる)」に向かう基礎となる3つの心(感謝・絆・全力)と実践力を小中一貫教育と各種交流活動を通して育む。

●4・3・2制による義務教育9年間を見通した系統的・継続的な一貫した学習指導・生徒指導

前期(1,2,3,4年生)

<基礎期>

基礎・基本の定着を図り、論理的思考力の基礎を養い、基本的な生活習慣を身に付ける。

中期(5,6,7年生)

<定着期>

基礎・基本を確実に身に付け、論理的思考力を伸ばし、規範意識を高める。

後期(8,9年生)

<発展期>

基礎・基本を確実に身に付け、活用する力や論理的思考力を伸ばし、社会性を高める。

●小中一貫教育のメリット発信

- ・小中一体型校舎を生かした「一つの学校」としての全職員の協働体制の強化
- ・地域の教育資源を活用した地域とともに育つ学校づくり推進
- ・小中一貫教育のパイロット校としての研究の充実と情報発信

●「みんなが楽しい北山校」にするためにまず、自らが命あることに「感謝」とともに他者を大切にしようという心情・態度・行動の向上を図る

●自己肯定感や関係力を高め、支持的風土をつくる仲間との「絆」づくり

●様々なことにいつも「全力」で取り組む児童生徒への承認

●「北山校授業モデル」の徹底による言語活動の充実及び論理的思考力の育成

●グローバル社会に資する思考力、活用力、関係力を高める交流授業への取組

●ふるさとを誇りに思い、ふるさとに学ぶ取組

●学校行動目標「立腰・あいさつ・返事・清掃・はきものそろえ・読書」の徹底

北山校の小中一貫教育

- 4・3・2制による教育システム
- 小中一体化した校務分掌
- 4・3・2制を生かした校時表
- 小中学部教師によるTTの授業
- 小学部複式学級の多様な授業
- 中学部教師の専門性を生かした授業
- 異年齢集団による合同授業・交流活動
- ふるさとにかかわる授業・活動
- 動植物の命にかかわる活動
- 小中一体化した児童生徒会活動
- 9年間で育てるリーダーシップ
- 放課後の補充・発展学習時間「友愛」
- 生徒指導、特別支援教育、教育相談の包括的实践(子ども支援)



小学部「友愛」



中学部「友愛」

学校づくり

●めざす学校像

- ・自他の命を尊重し、家族・仲間・地域の支えに対して感謝の心を育む学校
- ・仲間・地域・保護者との繋がりを推進する学校
- ・自ら学び、確かな学力と健やかな体、体力を育む学校

●めざす教師像

- ・情熱と謙虚さを持って児童生徒の成長に全力を尽くす教師
- ・自らの人間力・指導力の向上に努める教師
- ・北山校の一員としてチームワークを心がける教師

●特色ある教育活動

- 人と関わる力を高めるために、テレビ会議システムを活用して、オーストラリアのリズモア校・シェバトン校との国際交流授業を全児童生徒が体験



森林学習



中学部卒業式

8年生

9年生

基礎・基本を確実に身に付け、活用する力や論理的思考力を伸ばし、社会性を高める。

後期
<発展期>



中学部入学式
(入学式は、小中合同開催)

5年生

6年生

7年生

中期
<定着期>

基礎・基本を確実に身に付け、論理的思考力を伸ばし、規範意識を高める。

交流・体験



北山東部小との交流



サマーキャンプでの交流



冬の北山まつりでの交流

看護体験



中期総合発表会



農業施設見学



文化発表会



体育大会

異年齢集団での活動



新しい仲間を迎える会



前期ブロック集会



中期ブロック集会



後期ブロック集会



中学生ミニティーチャー



田植え



稲刈り



縦割り班会食